

フレキシソ事業、欧州に戦略拠点を新設 ～イタリアでフレキシソ印刷版の生産を開始～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長兼 COO：松井徹）は、欧州における新たな事業展開として、フレキシソ事業の生産拠点をイタリア・トリノに設けることをお知らせいたします。

フレキシソ印刷版の生産は、当社子会社である Dytech-Dynamic Fluid Technologies S.p.A.（略称：Dytech 社、本社：イタリア共和国トリノ県）が行い、2018 年初めより稼働を始める予定です。

フレキシソ印刷は、版の素材にゴムや合成樹脂を使った凸版印刷の一種で、インキの種類も被刷体も選ばない印刷方式です。特に、水性インキで印刷ができることから環境にやさしく、直接体に触れることの多い食品や医療・衛生用品のパッケージ分野での導入が進んでいます。また、ネット通販の浸透で段ボールへの印刷の需要が増加し、包装資材の省資源化が求められる中、缶や瓶、紙箱に代わる包装材として注目を集めるソフトパッケージへの印刷を得意としていることから、世界的にも今後ますますの需要拡大が期待できる印刷技術です。

住友理工では 2009 年にフレキシソ印刷事業に参入し、当社のコアコンピタンス「高分子材料技術（配合）」により、フラットトップ・ドットによる高解像度と短時間製版を実現。加えて、これまで製版工程では有機溶剤を使った手法（溶剤現像）が主流でしたが、当社は溶剤を使わない水による手法（水現像）で環境負荷を低減できるフレキシソ版を独自開発しました。これにより、溶剤・光熱費用などが削減でき、ランニングコストの低減が可能となりました。さらに、当社独自設計による製版機および廃液レスシステムを開発、製版工程で発生する現像液をリサイクルできるシステムにより、環境ソリューション事業への参入も果たしています。

当社フレキシソ事業の売上の 3 割を占める欧州市場は、今後の大きな成長が期待できる最重要市場です。新工場の投資金額は約 5 百万ユーロ、欧州事業の 2018 年度の売上は約 14 百万ユーロを見込みます。今回、子会社の事業拠点のあるトリノに生産工場を設けることで、為替リスクの回避、受注から納品までの期間短縮などを実現、当社グループとしてのシナジーを最大限発揮して欧州の主要顧客のニーズに迅速に応える体制が整います。

当社グループは、欧州においてフレキシソ事業を新規に立ち上げ、市場深耕にまい進することで、“Global Excellent Manufacturing Company”の実現に向けてさらなる成長を目指してまいります。

当社が開発した
感光性水現像フレキシ版



<Dytech 社の概要>

名称 : Dytech-Dynamic Fluid Technologies S.p.A.
所在地 : Via Andrea Doria 15, 10123, Torino, Italy
事業内容 : 自動車用ホースの製造・販売
資本金 : 30百万ユーロ
創業 : 2001年6月

<住友理工の概要>

名称 : 住友理工株式会社
所在地 : (グローバル本社) 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 J P タワー名古屋
(小牧本社) 愛知県小牧市東三丁目1番地
事業内容 : 自動車用品 (防振ゴム、ホース、制遮音品・内装品) および
一般産業用品 (精密樹脂ブレード・ロール、鉄道車両用・住宅用・橋梁用・
電子機器用防振ゴム、高圧ホース・搬送用ホース、ゴムシール材など) の製
造・販売
資本金 : 121億45百万円
創業 : 1929年12月
親会社 : 住友電気工業株式会社
従業員数 : 23,790人 (連結、2016年3月時点)
売上高 : 4,244 億 85 百万円 (同、2016年3月期)

【参考】

住友理工 感光性水現像フレキシ版 WEB サイト : <http://www.sumitomoriko.co.jp/aquagreen/>

以 上